

令和4年度教育課程研究集会
小学校 国語

小学校国語科の指導における 「主体的・対話的で深い学び」の実現 に向けた授業改善について

令和4年8月

奈良県教育委員会事務局

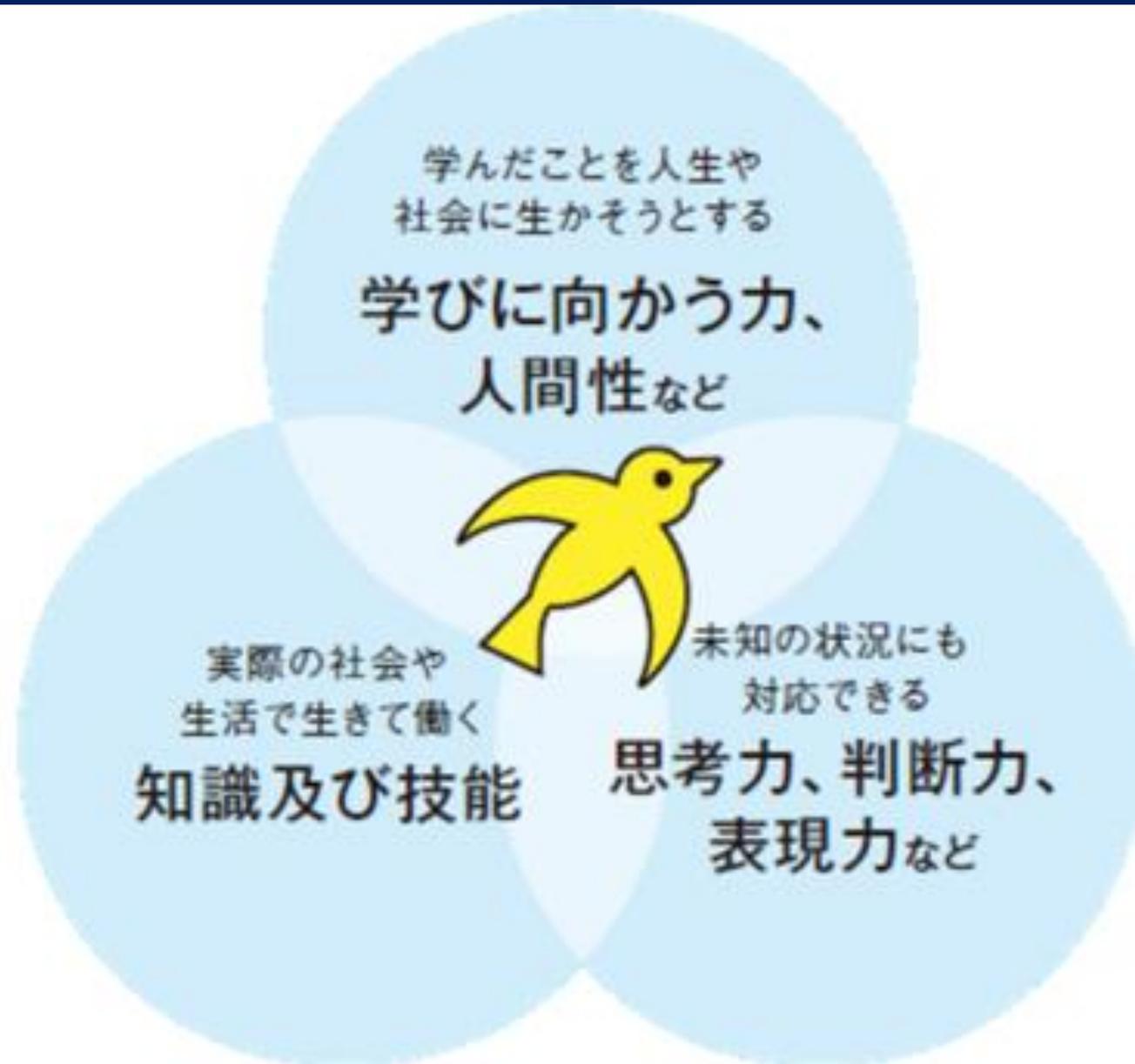
学ぶ力はぐくみ課 教育統計係

指導主事 井岡 直人

本日の内容

- 1 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
- 2 実践発表
広陵町立広陵西小学校 東田 兼一 先生
- 3 まとめ

育成すべき資質・能力の3つの柱



育成すべき資質・能力の3つの柱

学びに向かう力, 人間性等

どのように社会・世界と関わり,
よりよい人生を送るか

「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を
総合的にとらえて構造化

何を理解しているか
何ができるか

知識及び技能

理解していること・できる
ことをどう使うか

思考力, 判断力, 表現力等

国語科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

知識及び技能

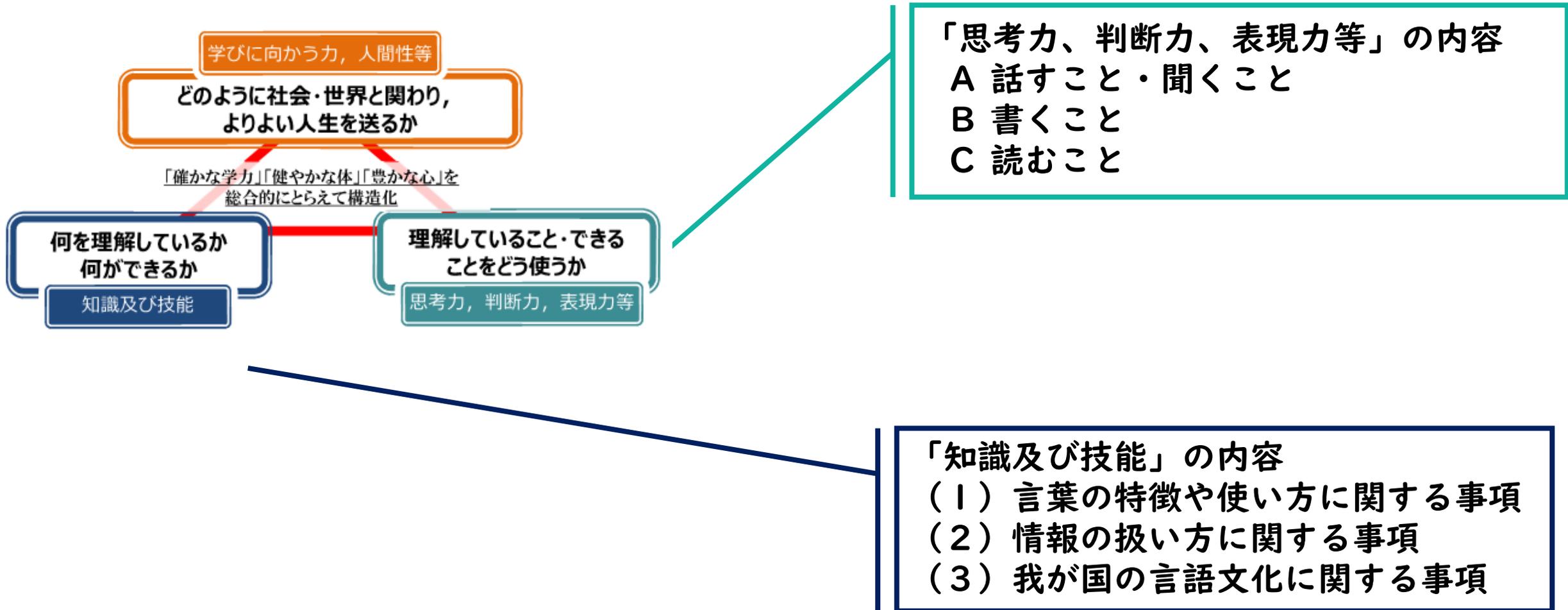
(2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

思考力、判断力、表現力等

(3) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

学びに向かう力、人間性等

小学校国語科で育成を目指す資質・能力



小学校国語科で育成を目指す資質・能力

〔知識及び技能〕の内容

(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項

- 言葉の働き
- 話し言葉と書き言葉
- 漢字
- 語彙
- 文や文章
- 言葉遣い
- 表現の技法
- 音読、朗読

(2) 情報の扱い方に関する事項

- 情報と情報との関係
- 情報の整理

(3) 我が国の言語文化に関する事項

- 伝統的な言語文化
- 言葉の由来や変化
- 書写
- 読書

小学校国語科で育成を目指す資質・能力

〔思考力, 判断力, 表現力等〕の内容の構成

A 話すこと・聞くこと			B 書くこと	C 読むこと
○話題の設定 ○情報の収集 ○内容の検討	○話題の設定 ○情報の収集	○話題の設定 ○情報の収集 ○内容の検討	○題材の設定 ○情報の収集 ○内容の検討 ○構成の検討 ○ <u>考えの形成</u> ○記述 ○推敲 ○共有	○構造と内容の把握 ○精査・解釈 ○ <u>考えの形成</u> ○共有
(話すこと) ○構成の検討 ○ <u>考えの形成</u> ○表現 ○共有	(聞くこと) ○構造と内容の把握 ○精査・解釈 ○ <u>考えの形成</u> ○共有	(話し合うこと) ○話合いの進め方の検討 ○ <u>考えの形成</u> ○共有		

学習過程の明確化、**「考えの形成」**の重視

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

主体的な学び

対話的な学び

深い学び

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

学びに向かう力
人間性等

どのように社会・世界と関わり、
よりよい人生を送るか

「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を
総合的にとらえて構造化

何を理解しているか
何ができるか

知識・技能

理解していること・できる
ことをどう使うか

思考力・判断力・表現力等

「思考力、判断力、表現力等」の内容

- A 話すこと・聞くこと
- B 書くこと
- C 読むこと

「知識及び技能」の内容

- (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項
- (2) 情報の扱い方に関する事項
- (3) 我が国の言語文化に関する事項

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行うことで、学校教育における質の高い学びを実現し、学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的（アクティブ）に学び続けるようにする。

①

【主体的な学び】の視点

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」が実現できているか。



◆ 三つの視点

深い学び

学びを人生や社会に
生かそうとする
学びに向かう力・
人間性等の涵養

生きて働く
知識・技能の
習得

未知の状況にも
対応できる
思考力・判断力・表
現力等の育成



②

【対話的な学び】の視点

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「対話的な学び」が実現できているか。



③

【深い学び】の視点

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「深い学び」が実現できているか。

まとめ

主体的な学び

- ・単元計画表で児童に見通しをもたせたこと
- ・めあてと振り返りをもとに自身の学びの変容を自覚させたこと

対話的な学び

- ・書き上げた要旨の交流場面を設定したこと

深い学び

- ・筆者の考えや論の進め方について、自分の考えをもつ時間を設定したこと

まとめ

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

授業改善の視点

どうしたら、見通しをもって作業したり、粘り強く考えたりすることができるだろうか。

「主体的な学び」の視点

授業改善の視点

どうしたら、振り返る内容を充実させ、次に生かせる気づきに導くことができるだろうか。

「主体的な学び」の視点

授業改善の視点

どうしたら、グループ間の議論を深め、様々な視点で考えを深めさせられるだろうか。

「対話的な学び」の視点

授業改善の視点

どうしたら、知識をつなげ深く理解したり、考えを形成したりできるだろうか。

「深い学び」の視点